

介護職員等特定処遇改善加算の取り組み

2025年4月30日

医療法人社団 葵会
介護老人保健施設 葵の園・野田

1. 介護職員等特定処遇改善加算の取得状況

事業所名	サービス名	算定する介護職員 処遇改善加算の区分
介護老人保健施設 葵の園・野田	介護老人保健施設(ユニット型)	加算 I
	(介護予防)短期入所療養介護(ユニット型)	加算 I
	(介護予防)通所リハビリテーション	加算 I

2. 賃金以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容

	職場環境要件項目	当施設での取り組み
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その他の施策取り組みなどの明確化	ホームページに掲載している
	他産業からの転職者、主婦層、中高齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の取り組み構築	未経験、無資格者の方の採用を行っている 介護の仕事をした意欲のある方であれば年齢を問いません。
資質の向上や キャリアアップに向けた支援	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	資格取得を希望する職員には、資格取得までの勤務シフトの調整などを実施しています。 施設内研修を定期的に実施。施設外研修への参加。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	上位者との面談を行っています。面談では職員一人ひとりの課題と向き合い、目標を持って業務に当たれるような工夫をしています。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフト、職員の希望に応じた非正規職員から正規職員への転換制度の整備	個々の希望に応じて雇用形態・勤務時間を選択する事ができ希望者は、面談を通じて判断したうえで常勤従業員に転換することができる。
	有給休暇が取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている	有給休暇取得を促進している。

腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健診診断・ストレスチェックや	短時間勤務労働者を含む全職員を対象に健康診断やストレスチェックを実施している。
	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	介護方法についてはリハビリテーションスタッフと協力して検討。必要に応じて、個々の職員に合った介護方法の指導を行っている。
生産性向上(業務改善及び働く環境改善)のための取組	厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築(委員会やプロジェクトチームの立ち上げ又は外部の研修会の活用等)を行っている	委員会を立ち上げ、業務改善に取り組んでいます。
	業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に、間接業務(食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等)がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う	営繕・クリーンスタッフなどを配置し、業務の分担を図っています。
	各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約、共同で行うICT インフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施	人事管理システム タイムプロを導入 共同物品購入等は事務がまとめて集約発注
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	各フロアミーティング・カンファレンス等を通じて個々の気づきを業務改善やケア改善に繋げている
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	ご家族からの手紙を社内に掲示している